

企業市民としての活動は、社会と大和証券グループのサステナビリティを実現するために不可欠な投資です。2003年度は、大和証券の支店において地域社会の要請を受けられるよう体制づくりをすすめました。また、活動のつながりや広がりを重視した取組みをすすめています。

### 企業市民活動についての考え方

大和証券グループの企業市民活動は、「金融・証券分野での教育・研究活動」「ボランティアを行なう従業員への支援活動」「財団を通じた地域社会・国際社会への助成活動」「文化芸術事業への協賛活動」に大別されます。2003年度は企業市民活動に事業活動から得られた経済的価値<sup>\*1</sup>の約0.2%に相当する3.3億円を支出しました。当社グループでは、経営環境の変化や業績の変動にかかわらず、企業市民活動の規模・支出額は安定的に継続させていきたいと考えています。

支店を通じた地域密着型の企業市民活動を実施していきます。



大和証券福祉財団  
助成金贈呈式



財団贈呈式をきっかけに  
バザーに協力

### 着実な助成活動

国内で2財団、海外で1財団を設立しています。大和証券ヘルス財団は「中・高年の保険・医療および福祉等に関する調査研究」をすすめる大学・病院に助成を行なっています<sup>\*3</sup>。2003年度は30件、総額3,000万円の助成を行ないました。大和証券福祉財団はボランティア活動などへの助成を行なっています。2003年度はボランティア活動へ220件、調査・研究へ1件、総額5,000万円の助成を行ないました。

大和日英基金<sup>\*4</sup>は、日本と英国の相互理解を促進する活動を対象に助成を行なうとともに、毎年英国人の奨学生(大和スコラー)を日本に招聘しています。2003年9月には第13期生5名が訪日しました。

### 文化芸術事業への協賛活動

2003年5月から6月にかけて、東京・滋賀にてジュゼッペ・ヴェルディ歌劇場「トリエステオペラ」の初来日公演に協賛しました。また2004年11月にはベルリン・フィルハーモニー管弦楽団(指揮者サイモン・ラトル)の公演を協賛します。

\*1 詳しくは「ステークホルダーとの経済的かわり」p.29をご覧ください。

\*2 2004年7月、社会貢献室からCSR室へ改組しました。

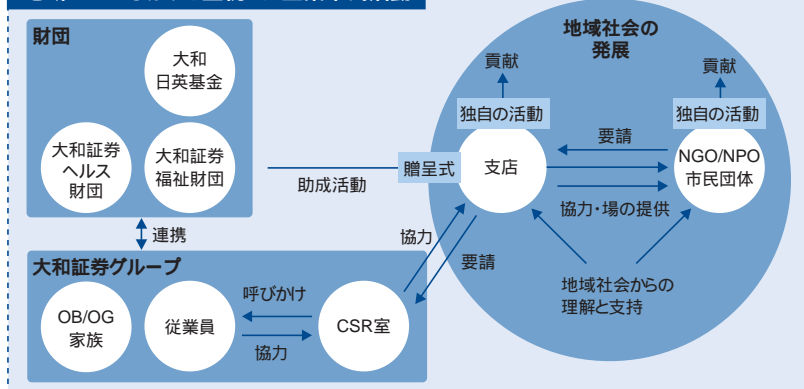
\*3 ほかに生活習慣病の予防・治療に関する調査・研究、健康保持・増進に関する啓発活動を行なっています。

\*4 大和日英基金の活動の詳細は、<http://www.dajf.org.uk/>をご覧ください。

### 全国の支店を地域交流の場に

1999年から大和証券福祉財団と大和証券ヘルス財団による助成贈呈式を、財団本部のほか、大和証券各支店で実施しています。支店での贈呈式には、支店長をはじめ財団とCSR室<sup>\*2</sup>スタッフが参加し、支店長自ら助成金を手渡ししています。さらに2004年度は、財団の助成先と連携し、

#### 地域とのつながりを重視した企業市民活動



## 広がりを見せるボランティア活動

### 活動の継続と広がり

ボランティア活動は従業員の視野を広げ、多様な価値観を生み、その結果、組織も柔軟になると考えています。活動はあくまで自主的なものと位置付け、強制的なものとはとらえられないように配慮しています。また、「福祉体験講座」を組み入れた研修<sup>\*5</sup>を実施し、ボランティアに対する理解を深めています。

継続的に行なっている代表的な講座としては「手話教室」と「補助犬講座」があります。また、補助犬講座で配布した手作り絵本「盲導犬 大助」<sup>\*6</sup>は、全国延べ98校の小・中学校へ総合学習の教材として配布しました（2004年8月現在）。今後も、全国の支店で手作りし、希望する周辺の学校に配布したいと考えています。



手作り絵本「盲導犬 大助」

「大助」は、全国延べ98校の小・中学校へ総合学習の教材として配布しました（2004年8月現在）。今後も、全国の支店で手作りし、希望する周辺の学校に配布したいと考えています。

### さまざまなグループ関係者が参加

CSR室では、従業員が積極的にボランティア活動に取り組めるように、ボランティア情報をインターネットで紹介しています。同時に大和証券グループのOB会（大和不二会：2,000人）ともボランティア情報を共有し、ボランティアの輪を広げています。2004年3月に実施した高尾山の間伐には、従業員に加え、OB、OG、大和スコーラーなどさまざまな関係者が参加しました。今後もグループ全体で展開できる自主プログラムを実施し、ボランティアの輪を広げていきます。



高尾山での間伐の様子

## 経済・金融分野での教育・研究活動<sup>\*7</sup>

大学・大学院では、寄附講座の開講や共同研究等の産学連携をすすめ、日本の金融力を高める活動を展開しています。また、昨年からは高校での実技体験型経済教育を通じた、経済教育支援を開始しました。

<sup>\*5</sup>

新入社員研修、マネジメント・プログラム（対象：総合職3級）

<sup>\*6</sup>

「盲導犬 大助」の原作は従業員の家族で、複数の従業員がボランティアで作成した手作り絵本です。

<sup>\*7</sup>

詳しくは「経済・金融教育への取り組み」p.12-15をご覧ください。

### 2003年度に行なった主な社会貢献活動

5月	・大和証券山形・津・金沢・岡山支店の従業員17名が「第24回あしながPウォーク10」に参加、それぞれの地域で10kmのウォーキングをしてあしなが募金をPR ・一般ランナーと身体・知的障害者が共に参加できるロードレース大会「東京シティロードレース2003」で従業員6名が受付案内・給水などをお手伝い
6月	・新入社員225人を中心とする従業員238名が、千葉県白子町九十九里浜海岸のクリーンアップ活動を実施。可燃ごみ300kg、不燃ごみ100kgを回収
8月	・東京都の麻布十番納涼まつりで、従業員とその家族70名が清掃活動、チャリティー募金、英語でのアナウンスなどをお手伝い ・環境保護をテーマとしたミュージカル「地球のいのち～森と水」に児童養護施設や母子生活支援施設の子どもたち89名を招待
9月	・兵庫県の芦屋・宝塚・西宮市が主催するクリーンハイキング「六甲山を美しくする会」に、大和証券大阪北エリア5カ店（梅田・豊中・茨木・尼崎・西宮支店）の従業員とその家族ら107名が参加。六甲山のクリーンアップを実施
11月	・東京都港区のみなとネットが主催する「ペットボトルのキャップで世界の子どもにワクチンを送ろう!」に参加し、従業員への呼びかけで集まった使用済みペットボトルのキャップ34,880個（ポリオワクチン21.8人分）を寄付
2月	・大和スコーラー（大和日英基金の奨学生）に日本の食文化を体験してもらおうクッキングセミナーを開催。従業員10名が参加し、日本の家庭料理に挑戦 ・イラン地震の救援活動として、従業員・OBによる募金144万8,352円を日本赤十字社に寄付
3月	・東京都の高尾山において、森林とのふれあいを通して環境保全を考える体験教室を主催、従業員・OB・OG・大和スコーラーら28名が間伐作業を実施 ・イラクにおける自衛隊の復興支援活動の拠点サマワの子どもたちへ、従業員から寄せられた鉛筆666本、クレヨン15セット、消しゴム132個、ボールペン95本、ノート54冊、カラーペン4セットを寄付

<sup>\*</sup>大和証券グループの社会貢献活動について、詳しくは<http://www.daiwa.jp/branding/kouken>をご覧ください。

### 大和証券グループに期待するもの 手話サークルくたちハンス・メイ（東京都国立市）代表 和田みさ氏

大和証券福祉財団からの助成をきっかけとして、大和証券グループの社会貢献活動に関心をもちました。「福祉体験講座」を通して社員の方が得た社会貢献活動に対する「理解」と「気付き」が個々のボランティア活動にとどまることなく、大和証券グループのお客様満足度のさらなる向上にも活かされることを期待しています。

